

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第2回桶川市いじめ対策委員会
開催日時	令和3年8月20日(金) (開会)午後1時30分・(閉会)午後3時30分
開催場所	桶川市役所 会議室201
出席委員	3名
欠席委員	2名
事務局職員	2名
傍聴者	0名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3 教育長あいさつ 4 委員紹介 5 委員長・副委員長選出 6 協議等 <ol style="list-style-type: none"> (1) 桶川市のいじめに係る現状について (2) 桶川市のいじめにおける対応について(非公開内容) (3) その他 7 閉会
配付資料	次第・名簿・実施計画(案) 桶川市のいじめに係る現状 桶川市いじめ対策委員会規則 桶川市いじめ防止等基本方針 桶川市いじめ重大事態における行動計画(いじめ対策委員会)
議事の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状の交付 3 教育長あいさつ <p>かつての生徒指導事案は目に見えやすいものも多かった。現在はSNS等、見えにくい状況がある。対応する教員も見えにくいがゆえに、この程度であればと自己判断で報告を欠如させ、問題が深刻化している状況もある。</p> <p>若手教職員を中心に、中堅から管理職に至るまで指導力等の低下が懸念されるため、桶川市では学校教育指導員という経験豊かな退職校長が研修を実施し、指導力の向上を図っている。</p> <p>委員の皆様のお借りして、桶川市のいじめの状況等について様々な視点</p>

からご助言等をいただきたい。

4 委員紹介

5 委員長・副委員長選出

・委員長に町田委員、副委員長に高橋委員が選出された。

6 協議

(1)「桶川市のいじめに係る現状」について

事務局：桶川市のいじめに係る現状についての説明

委員：いじめられた児童生徒への特別な対応が、小学校と中学校で異なる理由は何か。

事務局：いじめを発見した場合、中学校では常に連携を意識し組織的な対応を行うが、小学校では、担任指導のもと当人同士が悪かったことを謝って完結してしまうケースが多いことが理由の一つと考えている。

委員：クラス担任制の小学校、教科担任制の中学校で確かに中学校では「組織的対応」が意識されており、小学校では「学級王国」と言われる状況も以前は耳にした。自らの学級のことを自らの力で解決するという意識から報告が遅れることもあったと思われる。

事務局：今は、若く経験の浅い職員が増えており、自らの指導力では解決できないケースが増えている。そういう意味で、学級だけで「問題を抱え込む」ケースは少なくなってきている。

一方で、明らかに対応の難しいケースでは管理職や主任への報告がなされるものの、自ら解決できると思いきこんでいるケースについて報告がなく、結果的に問題が大きくなるということも見られ課題であると認識している。

委員：新型コロナウイルスに感染したもののへの差別が起こらないように、いじめの対象となることがないようにしなければならない。甲子園大会の辞退は、感染者が特定されないための配慮のためであると聞いている。

委員：10代の感染者が間違えなく増加している。今後、間違えなく学校にくる。

事務局：実際に1学期の児童生徒の感染者数よりはるかに多い人数の感染者が夏季休業中に報告されている。差別が起こらないよう管理職を通じて改めて指導していく。

(2) 桶川市のいじめにおける対応について

・個人情報等に係る内容であるため非公開とした。

	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none">・次回以降、桶川市いじめ防止等基本方針と桶川市いじめ重大事態における行動計画の内容を確認し、必要に応じて修正していく予定である。 <p>7 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--